

2024年(令和6年)

町田の文化

会報32号



東海道五拾三次之内 池鯉鮒 首夏馬市

一般社団法人
町田市文化協会

(一社)町田市文化協会 会報第32号 もくじ

東海道五拾三次之内 池鯉鮒 首夏馬市

ご挨拶

ごあいさつ

ごあいさつ

ごあいさつ

国際親善を深める文化の力 ~G7日光閣僚会合にて~

(一社)町田市文化協会 会長

町田市長

町田市議會議長

町田市教育委員会 教育長

前内閣府特命担当大臣 衆議院議員

ごあいさつ 一文化・芸術活動の振興に向けて~

(一財)町田市文化・国際交流財団 理事長

『山野草と文化の発展』

学校法人東京町田学園 町田デザイン&建築専門学校 理事長

ごあいさつ

ごあいさつ

「距離感を大切に」

ごあいさつ

黙4等旭日小綬章を授章して

大谷選手と野球文化と感動と

事務所看板掲額に感謝

町田市農業協同組合 代表理事組合長

国際ソロブチミスト町田 会長

町田市議會議員 茶道部 部長

(一社)町田市文化協会 常任顧問

(一社)町田市文化協会 常任顧問

(一社)町田市文化協会 会長

題字 平野南秋

歌川広重

高野 宗佳 1

石阪 丈一 2

木目田英男 2

小池慎一郎 3

小倉まさのぶ 4

高橋 豊 6

井上 博行 7

澤井 宏行 8

吉川 英明 8

柴崎亜紀子 9

若林 章喜 10

大西 宣也 12

新井 吼優 13

高野 宗佳 14

〈特集 文化を伝える〉

高校生とのコラボ

「親子で親しむ茶会」について

おもてなしの心

子どもとともに地域で学ぶいければな

囲碁いろいろ 一学童保育へー

こどもの個性がはじける!みんなの児童作品展 MOA町田みんなの児童作品展実行委員会 副実行委員長

(一社)町田市文化協会 顧問

町田茶道会 副会長

町田茶道会

町田華道協会

町田市囲碁連盟 会長

町田市立国際版画美術館 館長

町田市立博物館 館長

町田華道協会 会長

鷺北 秀樹 16

有賀 仙陽 17

館山 宗春 17

小川 陵華 19

倉橋 幸二 20

白鳥 明 21

【寄稿1】

ごあいさつ

皆様の「町田の当たり前」は何ですか

町田華道協会創立70周年を終えて

町田市立国際版画美術館 館長

町田市立博物館 館長

町田華道協会 会長

大久保純一 22

伊藤 嘉章 22

鈴木 螢梢 23

【寄稿2】

ご挨拶

「俳句をまなんて」

ごあいさつ

ご挨拶

さくらんぼの実る頃

古稀ということ

町田演劇鑑賞会の紹介

音楽の泉紹介

新任ご挨拶

フラとハワイと日本とは

ごあいさつ

「民謡協会42周年大会を終えて」

「ツナガルたのしさ!町田+文化+WHAIS」

(一財)町田市文化・国際交流財団文化団体支援室長

町田市俳句連盟 会長

人形文化連盟 会長

観世流能楽師

町田市シャンソン文化協会 会長

町田市吟詠連盟

NPO法人町田演劇鑑賞会 副会長

音楽の泉代表

ハワイ音楽とフラを楽しむ会 会長

東京都町田市フラ協会

ナベ音楽協会 会長

町田市民謡協会 会長

WHAIS事務局長／プロデューサー 一級建築士

佐藤 浩子 24

三遊亭らん丈 24

松岡みゆき 25

梅若 紀佳 25

斗南 良子 26

竹井 鶴迢 26

熊坂 有美 27

斎藤恵津子 28

高橋 惣一 29

石橋 國彦 30

白橋 瑞沙 30

志賀 叶祥 31

久保田昭子 31

【令和5年度町田市文化功労賞受賞者の皆様】

町田市文化芸術功労を受けて

町田市文化芸術功労賞をいただいて

町田市文化芸術功労賞を頂いて

町田市書道連盟 副会長

町田茶道会 副会長

町田華道協会 顧問

齊藤千賀子 32

西村 雅仙 32

広瀬 啓友 32

【町田市民文化祭 秋の催し 写真】

【市民文化祭 春の催し 写真】

【新春文化の祭典in鶴川2024 写真】

【令和5年度賀詞交歓会 写真】

【文化協会研修事業 写真】

【さくらまつり】尾根緑道さくらまつりに参加して

33

35

36

37

38

尾根緑道部会 竹井 敏夫 39

活動記録

賛助会員ご芳名/ご寄付ご芳名 40

運営委員/加入団体と会員数 44

正会員 45

名誉会長・顧問・理事・監事・あとがき 46

..... 47

歌川広重 東海道五拾三次之内 池鯉鮒 首夏馬市 天保(1830～44)前期 町田市立国際版画美術館蔵

広重の出世作でもある保永堂版「東海道五拾三次」中の1図。池鯉鮒宿(現在の愛知県知立市)の外れの草原で毎年4月25日から10日間開かれていた馬市の光景を描いている。のんびりと草を食む馬たちの向こう、1本の木の周りで博労たちが取引をしている。一陣の初夏の風が吹き渡り草原が波立つ様子が濃青緑と薄緑の重ね摺りで巧みに表現されており、色彩でもって風を描いた稀有な作例とい



ご挨拶

(一社)町田市文化協会 会長 高野宗佳

「町田の文化」第32号発刊に当たりご挨拶を申し上げます。

新年早々の能登半島震災で被災され、不自由な生活をいまだに余儀なくされている方々も多く、一日も早い復旧と復興を心より願っております。

又、分断化された国際社会の混沌とした状況の中、とりあえずは落ち着いた日常に感謝しつつも、今すべきことを考えさせられる日々でもございます。

一方で商業・工業・観光・文化・芸術それぞれの活動は、コロナ禍の三年で過ごした経験とともに、士気もたかまり展望が開ける時代へ向かって参りました。

さて、文化協会の一年を思い起こしますと、拠点となる事務所の開設からおよそ一年が過ぎようとしております。

「秋の市民文化祭」はじめ「市美展」春の文化祭は、以前にもまして積極的な市民の参加がみられ、あらたな時代へ！のキャッチフレーズさながらとなりました。又、町田市及び他団体との共催事業の数々では、文化芸術振興や観光まちづくり等に対する関係各位の熱意も有難く、当協会としても大変励みになることでもございました。

折に触れ研修事業も開催することが出来まして、とりわけ5年度春の文化祭ファイナルコンサートと版画館館長のご講演が実現いたしましたことは、素晴らしいご縁に繋がり、お陰様で会報「町田の文化」32号の表紙は、大久保館長のご協力による広重作品の魅力あふれる作品をかざらせて頂くことになりました。

その他にも新春はポプリホールにて文化の祭典、賀詞交歓会やさくらまつりへの参加等、加盟団体の協力及び賛助会員のご支援と役員の一致協力のお蔭様にて無事に過ごすことが出来ました。誠に有難く感謝の念に堪えません。

「雲取青山岳」の思いも新たに、皆様と一緒に町田の文化を守り継げますよう、更に精励を致したく存じております。

引き続き、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げましてご挨拶とさせて頂きます。





ごあいさつ

町田市長 石阪丈一

町田市文化協会の皆様には、日頃から町田市の文化芸術の振興、発展にご協力いただき、誠にありがとうございます。

「町田市民文化祭『秋の催し』」は、皆様が日々研鑽されてきた成果を発表する場として、毎年多くのお客様に楽しんでいただいている。昨年度は、来日していたインドネシアのパラバドミントン代表選手に、展示作品や舞台発表を鑑賞いただき、町田の文化に触れていただきました。催しを通じて、ホストタウンとしての「おもてなし」をすることことができ、このような機会を提供してくださった皆様に、改めて感謝申し上げます。

町田市では、文化芸術の持つチカラをまちの活性化に活かし、時代や環境の変化に即した文化芸術施策を戦略的に推進していくため、「(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画」の策定を進めています。

これからも、市民の皆様が様々な文化芸術に触れる機会を持ち、充実した時間が過ごせるよう、魅力溢れる町田を目指してまいりますので、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町田市文化協会の更なるご発展と、会員の皆様方が今後も健康で充実した活動を続けられることを祈念し、私からのご挨拶の言葉といたします。



ごあいさつ

町田市議会 議長 木目田英男

「町田の文化」32号の発行、心よりお慶び申し上げます。

町田市文化協会の皆様には、日頃から様々な文化活動を通じて、伝統文化の発展、芸術の振興並びに市民の文化に対する意識の向上という面で、多大なご貢献をいただいたおり、心より感謝申し上げます。また、恒例となりました市民文化祭では、加盟団体だけではなく、町田市に通勤・通学されている方も含め、幅広く参加できる発表の場として開催をいただいており、各文化団体の相互の交流や連携を図る機会となるとともに、町田市の文化活動の発信の場として、市民の皆さんも非常に楽しみにしている一大イベントとなっております。

こうした中で、協会に加盟しているさまざまな団体の皆様のご活躍をお聞きいたしますと、町田市にはすばらしい文化的な人材が豊かであり、今後の文化振興の可能性を改めまして強く実感させられます。

市議会といたしましても、市民の文化芸術活動の振興、文化施設の環境整備などの促進とともに、市民の笑顔があふれる魅力あるまちづくりを目指して最大限の努力をしてまいります。協会に加盟されている各団体の皆様も、それぞれの分野で創造的な活動をされている中、様々なご意見をお持ちだと思います。こうした皆様のご意見を市議会にもお寄せいただきながら、文化芸術活動支援への取り組みを進めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びといたしまして、町田市文化協会のますますのご発展と会員の皆様のご活躍をお祈り申し上げまして、挨拶といたします。



ごあいさつ

町田市教育委員会 教育長 小池慎一郎

「町田の文化」会報32号の発行を心からお喜び申し上げます。

町田市文化協会の皆様には、日頃から町田市の文化芸術振興をはじめ、学校教育及び生涯学習の分野にも多大なご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。さて、町田市教育委員会では、2024年3月に「町田市教育プラン24-28」を策定いたしました。新たな教育目標として「自ら学び、あなたと学び、ともに創る町田の未来」を掲げ、目標実現に向けた重要な要素として、「学び続ける力」を基本方針、各施策、重点事業に組み込み、取組を進めていくところでございます。町田市文化協会をはじめ加盟団体の皆様におかれましては、子どもたちが地域の文化や伝統文化に触れる機会を設けていただきなど、多くのご協力をいただいております。このような貴重な体験は、子ども達の財産となり、生涯を通じて「学び続ける力」を育むことにつながると考えます。今後も、子どもたちが伝統文化や地域文化に触れ、次代の担い手となれるよう、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町田市文化協会の益々のご発展と、会員の皆様の更なるご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



REMBRANDT HOTEL
TOKYO MACHIDA

レンブラントホテル東京町田

東京都町田市原町田 3-2-9 TEL042-724-3111 (代表)

ホテル公式 SNS フォローよろしくお願ひいたします。





国際親善を深める文化の力 ～G7日光閣僚会合にて～

前内閣府特命担当大臣
衆議院議員 小倉まさのぶ

日頃より高野会長を中心に町田市文化協会と加盟団体の皆様には市民文化の振興にご尽力いただきしておりますことを厚く御礼申し上げます。町田市民文化祭をはじめ様々な催しで町田市を盛り上げていただいておりますことを重ねて感謝申し上げます。

グローバル化が進展する現在、平和で豊かな国際社会を築いていくためにも各国が相互に理解し合うことが必要不可欠です。相互理解を促し国際親善を深めるためにも、人々の心と心を通わせる力のある文化の果たす役割がますます求められています。

昨年6月、私は担当大臣として、我が国初のG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の議長を務めました。国際会議は互いの国益をぶつけ合い激しい議論が続くこともあります、こうした緊張感を和らげるのが文化の力です。政府主催の歓迎会ではバイリンガル落語や長唄三味線を、開催地である栃木県・日光市主催の歓迎会では足利八木節が全て女性演者により披露され、また、日本はサクラ、英国はバラ、カナダはカエデというように各国の花をあしらった日光彫も贈呈されました。日本のおもてなしは各国参加者の評判を呼び、会議の成果として「日光声明」をまとめることもできました。

我が国に力強い文化の力が存在するのは、各地域における担い手の日々の努力の賜物です。地域社会の中で、しっかりと文化の継承を続けてくださったからです。町田市文化協会におかれましては、市民ホール内に事務局を開設し、つい先日も大変立派な看板も掲げられたと伺っています。町田の更なる文化発展のため、皆様の活躍の場が一層広がることを祈念し、挨拶とさせていただきます。



日光彫を手に各国参加者と



町田市茶道会月例茶会にて

日頃よりご愛顧戴いております

茶道の用にかなつた茶道具の
逸品を展示販売しております

また左記の通り各種教室を

開催しております

是非ご利用ください

・茶道基礎講座

・懐石教室

・茶花教室

・和菓子教室



唐物手付花入

茶の湯道具
新・古美術

さがみや

町田市原町田 4-5-6 ☎(042) 722-3334
HP: sagami-ya.com Mail : info@sagami-ya.com



町田銘菓 大地沢の路

御菓子司
明月堂

東京都町田市相原町 1234-5
Tel : 042-772-6948
Mail : meigetu@zf7.so-net.ne.jp



ごあいさつ

－文化・芸術活動の振興に向けて－

(一財)町田市文化・国際交流財団 理事長 高橋 豊

日頃から、当財団の活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年度は町田市文化協会が主催されました「第45回町田市民文化祭」、「第49回町田市民美術展」はコロナ禍以前の賑わいを取り戻し、多くの市民の方に文化・芸術のすばらしさを楽しんでいただけたのではないかでしょうか。また、町田市民文化祭などを通じ外国籍の市民の方々に日本文化の素晴らしさを伝えていただき、当財団の事業目的である国際交流活動にも多大なご協力いただき御礼申し上げます。コロナ禍が開けた新しい年度を迎え、改めて当財団の使命である「地域文化を創造しその発展を図るとともに、市民の充実した文化活動の支援及び地域における国際交流活動の推進をすることで、文化の香り高く国際感覚豊かなまちづくりに寄与していく」ということを肝に据え、初心に戻り活動して参る所存です。そのためには、町田市文化協会の皆様と力を合わせて町田市民文化祭の益々の盛会に向けて力を注ぐとともに、市内の文化芸術団体等への支援を通じ市民の皆様が文化芸術に触れる機会を増やしていきたいと考えております。結びに、町田市文化協会の皆様と文化・芸術活動の更なる振興に努めてまいりますことをお誓い申し上げまして、ご挨拶とさせて頂きます。



熊澤税務会計事務所

Kumazawa Tax & Accounting Office

税理士・行政書士
熊澤 裕人

税理士
熊澤 礼里

〒194-0023
東京都町田市旭町1-17-20
TEL 042-728-1110 FAX 042-728-5272
*旭町交差点際

『山野草と文化の発展』

学校法人東京町田学園 町田デザイン&建築専門学校 理事長 井上博行

半寿(八十一歳)を過ぎて悔いのない人生を考えるようになりました。結婚して五十七年を迎えて、無我夢中で我が道を歩み続けています。家内と共に過ごす時間は限られています。十数年前に家内から、自宅の裏に山野草を育ててみよう提案があり、二人で過ごす時間は「これだ!」と思い、すぐさま賛同し約六百五十平方米(二百坪)に三百五十種程の山野草を育ててきました。

春夏秋冬をいち早く教えてくれる日本古来から生息する『山野草』は、お茶席の茶花をはじめ可憐で、また桜の芽の若芽などは我が家の健康長寿に貢献してくれています。

庭の花を観賞することはもとより、人間と植物の深い関わり合いを知ったり、歌や俳句を作ったりするうえでも参考になります。ごく当たり前に見られた日本在来の草花が外来種に押されて自然破壊によって絶滅の危機に瀕しています。

小生夫婦は、趣味を味方に健康で長寿の折り返しを、共に育てた山野草を見つめて歩んで行きたい。

町田市文化協会の発展を祈りつつ!





ごあいさつ

町田商工会議所 会頭 澤井 宏行

町田市文化協会の皆様におかれましては、日ごろから、様々な文化活動を通じて伝統文化並びに芸術の振興に多大なるご貢献をいただき、心より感謝申し上げます。

価値観の多様化が進む現代において、人々に楽しさや感動、安らぎをもたらす文化芸術活動への期待は大きくなっています。

町田市文化協会による文化活動の発信がより積極的に展開され、市民が市民芸術に親しむ機会を生み出していくことは、地域文化の向上に寄与し、市民生活により一層、豊かさをもたらすものと期待しております。

当所といたしましても、町田らしいおもてなしの心や、先人から引き継いできた味、伝統に裏打ちされた技、人々が工夫してきた暮らしなど、言葉にはできない「町田市の風情」を大切に守りながら、市内経済の発展に全力を尽くしてまいる所存です。

町田市文化協会の会員の皆様には、今後とも町田市の文化芸術振興の牽引役として、地域の薫り高い文化の醸成にお力添えをお願いするとともに、町田市文化協会のますますの後発展を心よりお祈りいたします。



ごあいさつ

町田市農業協同組合 代表理事組合長 吉川英明

「町田の文化」第32号の発行を心よりお慶び申し上げます。

また、町田市文化協会の皆様におかれましては、日頃より町田市の文化芸術振興に多大なる貢献をいただき、深く敬意を表すと同時に感謝申し上げます。

我が国にて古来より伝承された文化に稲作文化があります。

しかし、残念ながら町田市の管内において稲作を営む農家は年々減少しております。

当JAは、この稲作文化を後世に伝えていくべく、様々な取組を行って参りました。昨年度は、宮中献穀米奉獻組合として、管内農業者の方に奉耕者を務めていただき、10月25日に宮内庁への奉獻を無事に終えることができました。

また、町田市農業委員会と協力し、市民の皆様に対しては、米作り農業体験を行っていただき、市内の小学生の皆様には、バケツ稲の配布を行うなど、農業や稲作に親しんでもらうよう様々な取組みも行っております。

日本の秋には米の豊作を祝う祭りがあり、正月には御餅を食べ、日本酒をいただく。米の食文化は日本の伝統行事にも、深くかかわっています。これらを守り、後世に伝えることが当JAの重要な使命であると考えております。今後とも町田市文化協会の皆様と歩みを共にし、町田市の文化継承に貢献できましたら幸いです。

末筆ながら、町田市の文化芸術の益々の発展と、貴協会の皆様のご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

「距離感を大切に」

国際ソロプチミスト町田 会長 柴崎 亜紀子

文化や芸術とは、時代を生きている人々の思想や夢、あるいは世の中に起こるニュースや出来事といった日常もしくは非日常に向き合ってきた「距離感」を描いたものであるように感じています。

江戸時代、日本では政治的、宗教のあるいは人道的な事件、出来事は、自由に表現することが禁じられていたため、例えば、浮世絵師は、その多くの作品に、事象や物語に語られてはならないニュースをなぞらえて人々に伝えようとしてきたようです。

こうした距離感を以て描くことで、人々も、それらを読み解こうと試み、また世間で今何が起きているのかを把握するためのコミュニケーションツールとして、文化、芸術が今日まで深く、根強く受け継がれてきたのでしょうか。

例えば、「茶の湯」ひとつをとってみても、その文化とは、もてなし、しつらいの美学と語るには、あまりに言葉が足りず遠く及びません。なぜなら、亭主と客が一服の茶を介して一期一会の心を通わせる精神がそこにあり、これこそが安土桃山の時代から遙かなる時を超えて受け継がれてきた「心」の文化ではないかと思います。

自由な表現が許されている現代社会においては、新たな創造、新たな文化が人々を魅了していますが、先人が生きてきた時代だからこそ生まれた距離感、空気、気配を大切に文化、芸術を学んでいきたいと存じます。

最後に、町田市文化協会様が幾久しく活躍され、ご発展されることを、心よりご祈念申し上げるとともに、「町田の文化」ご発行に心よりお祝い申し上げます。



ごあいさつ

町田市議会議員 茶道部 部長 若林 章喜

ご機嫌よろしゅうございます『第17期町田市議会 議員茶道部』でございます。日頃から、町田市文化協会が提供してくださる多彩なプログラムとイベントに心から感謝申し上げます。昨年度も、茶道会の先生方のご厚意により、市議会定例会ごとに町田市議会にお越しいただき、私たちは茶道の精神性と美学を学び、茶道会が主催する月例茶会や様々なイベントに参加することで、貴重な文化を学ぶことができるとともに、茶道の静寂の中で内省する時間を持ち、日々の喧騒から離れることができます。

町田市文化協会・町田茶道会の皆様の献身的なサポートに深く感謝し、これからも、私共の活動が、少しでも、市民の皆様の文化的豊かさに貢献できますように努めてまいります。引き続きのご指導をよろしく申し上げます。



町田市議会議員茶道部(期数・年齢順・敬称略)

吉田つとも・熊沢あやり・若林章喜・いわせ和子・山下てつや・戸塚正人・松岡みゆき・佐藤和彦・白川てつや・森本せいや・木目田英男・おぜき重太郎・村まつ俊孝・東友美・矢口まゆ・秋田史津香・加藤真彦・中川幸太郎

まほろ座 MACHIDA
9周年記念特別公演

加藤登紀子

Tokiko Kato



いく時代かが
あります

2024

2024
10月18日(金)

会場 まほろ座 MACHIDA

1st STAGE 15:00 開場 15:30 開演

2nd STAGE 18:00 開場 18:30 開演

自由席 入場 9,000円(税込)

*1ドリンク付き(お食事のご用意はございません)

<ご予約・お問合わせ>

●電話

まほろ座 MACHIDA

042-732-3139

●WEB予約

<https://www.mahoroza.jp/lp/katotokiko2024/>



公演情報はこちら

[協力] (一社)町田市文化協会 / (一財)町田市文化・国際交流財団 / (一社)町田市観光コンベンション協会 / Music Cafe 光琳 / マ・シャンブル / NPO 法人町田演劇鑑賞会 / 町田パリオ
まほろ座 MACHIDA : 東京都町田市森野1-15-13 パリオビルB1F 小田急線 町田駅 西口改札を出て1分 / JR横浜線 町田駅 中央改札口を出て3分

五つの赤いふうせんをかかげる私達のもとに嬉しいお知らせ。

「いく時代かがあります」

加藤登紀子まほろ座ライブを今年も実現させて下さいます。



2024年、ふと耳にした「トキワード」は今も聞こえてくるのです。

憎しみを育ててはいけない。

心と心、手と手をつなぎ、愛をもってのりこえられる。

もう～大好きです。1つ1つ、ご自身の足でしっかり歩いてこられた
ぶれない言葉です。

歌手の道を心に決めた登紀子さんの20歳の革命。

4回目の20歳をむかえて、フレッシュさも増して、沢山旅をしてきた
歌の数々とメッセージを再びご一緒に聞きましたか。

皆様の20歳(ハタチ)を見つけませんか。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

まほろ座 MACHIDA

座長 中村 恵 スタッフ一同

世代を超えた文化の架け橋へ

まほろ座

MACHIDA

LIVE & RESTAURANT



勲4等旭日小綬章を授章して

(一社)町田市文化協会 常任顧問 大西宣也

令和5年10月2日、都知事より自治功労章表彰を受け、その後、叙勲の通知を戴き11月3日文化の日に都知事より叙勲の伝達式にて勲4等旭日小綬章を拝受。

同11月6日皇居宮殿、春秋の間に於きまして天皇陛下の拝謁を賜り、長い間、国のために尽力されお疲れさまでした、今後も更に精進されますようとのお言葉も賜り、身の引き締まる思いが致しました。私の活動がどのように評価されたのか具体的にはわかりませんが、38年前44歳で市議会議員に初当選してから引退するまで常に念頭にありましたのは町田市を、また日本という国を何とかよくしていきたいとの強い想いでした。日本文化の伝統を大切にし、先人の知恵に学び、改めるべきを改めていく、そうすることで物質的な豊かさだけでなく、伝統を新たなものとして、今を彩る文化が育まれる、真に豊かな日本が生まれると、信じてまいりました。

保守というのが長年の私の政治生活の基本であります。

政治生活の中で残念なことは2つ、拉致問題と憲法改正が未だにハードルの高い問題として残っていることがあります。世界の情勢は混とんとしており、危険極まりない隣国ロシア、中国、北朝鮮に隣接する我が国にとってもいつ飛び火するやもしれない状況であるにもかかわらず、政府や国民意識の希薄さ。一旦緩急ある時、今の憲法で国民の生命、身体、財産を守れるのか、はなはだ心もとない限りです。

其れはさておき、今回賜った叙勲は私一人ものではなく、共に戦い、ご支援いただいた同志の皆様、支援者の皆様の代表として賜ったものであり、このことは終生の家訓として大事に守ってまいります。また4月13日の叙勲を祝う会に文化協会の関係者の皆様に多大なご支援を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

誠に有難うございました。



大谷選手と野球文化と感動と

(一社)町田市文化協会 常任顧問 新井 吼 優

このところ、大谷翔平選手のアメリカ大リーグでの活躍が、連日テレビのニュースや各種の番組で報道され、大谷選手の好調なゲームプレーが大きくテレビ画面に登場する。それを、私達は今や普通に当たり前のように見聞きして、その結果に日々一喜一憂して更に期待をしているのである。野球と言えば、元々アメリカで発生し発達した文化であり、アメリカスポーツの花形とも言える存在で、今日でも大リーグの人気度は、数あるスポーツの中でも最上位であることに間違いない。

一方、日本における野球の歴史は明治の初期にさかのぼると云われ、伝来して以来、アメリカのルールを範としながらも日本独自の選手の育成や実戦を経てプロ野球、アマチュア野球など日本人好みのスポーツとして発達しこれも日本スポーツ界での人気度は未だに最上位にあると云える。昨年の春、野球の世界一を決めるため多くの国の代表チームが集って行われたWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)では、日本代表「侍ジャパン」が決戦の地アメリカに渡って準決勝を劇的逆転勝利し、ついに強豪アメリカチームとの決勝戦では、接戦で緊迫した最終回に、投手大谷の渾身の一投が、強打者で鳴る四番バッターを三振に沈め、まさに14年ぶりの夢の優勝飾った瞬間はブラボー。また、その数日間がある意味日本中が興奮し、感動したことは未だ記憶に新しい。このWBCで活躍した多くの選手の中でも一際大活躍をしたのは、やはり大谷翔平選手でその熱血プレー・好感度キャラクターは今でも世界中の野球ファンから熱い視線を浴びているに違いない。大谷選手は、昨年アメリカ大リーグのエンゼルスでピッチャーとして、またバッターとして大活躍をしたことが高く評価されシーズン終了後、前年に続く2年連続の「最高殊勲選手」に選ばれた。数々の栄誉を受けたときの大谷翔平選手がインタビューに答えた言葉に「自分は、勝つことが一番大事なことだと思っている。然し、何事であっても独りでは目的を達成することは出来ない。だが幸いなことに、オーナー・監督・コーチ・チームメートなど多くの人達が自分と同じ方向を向いてくれた。いろいろな目的が達成されたのもその人達のお蔭と感謝している」と。けだし名言かな。

「町田の文化」第32号ご発行を心より御祝い申し上げます



えびす屋商事有限会社

土地・建物・アパート・店舗・事務所・マンション・貸家・駐車場
(売買・賃貸・仲介・管理)

〒194-0021 町田市中町1-17-12(小田急線第2踏切そば、河合塾前)

TEL042-722-2215 FAX042-726-0017

URL <http://www.ebisuyasyouji.co.jp>

am9:30～pm18:00 水曜日・第1第3・第5日曜日定休(夏期、年末年始除く)



事務所看板掲額に感謝

(一社)町田市文化協会 会長 高野宗佳

去る4月24日、東京町田デザイン＆建築専門学校理事長で文化協会賛助会員の井上博行様から、お電話を頂きました。「文化協会の事務所の看板が出来上がったのでご覧頂きたい」という嬉しい内容でした。

この日の夕方はかねてより大西常任顧問叙勲を祝う会発起人会の予定で、大降りの雨模様でしたが井上先生が丁寧に梱包されてお持ち下さり、同席した常日頃から文化協会へご支援を頂いている皆様にも、と一緒にご観覧頂くことが出来ました。

この看板につきましては、昨年5月に岡野理事より板を寄贈頂き、書道連盟宮本会長にご染筆をお願いしておりました。その後井上理事長が彫刻家の方へデザインをお願い下さいまして、自ら文字をカシュー塗で仕上げて、井上先生のお蔭で出来上がったものでございます。

30日10時、井上先生が七つ道具ご持参で看板を事務所にかけて下さることになり、急遽お声かけした皆様がお集まり下さいました。町田市より老沼文化スポーツ振興部長・山田文化振興課長、財団から宗田専務と佐藤文化団体支援室長、市議会より三遊亭らん丈議員・小関議員、文化協会からは大西・新井常任顧問と森顧問、平野監事、都合のついた役員たちが同席致しました。事務所開設から看板掲額に至るまで、誠実にご対応頂いて参りました前文化スポーツ振興部長篠崎陽彦様にもスポーツ協会事務局長としてお運び頂けました事も、機縁に感謝でございます。

いずれにせよ井上博行先生のご厚情は誠に有難く筆舌に尽くせません。皆様にも感謝一入の記念すべき日となりました。

「人との出会いは人生の財産である」と伺いますが、すべての出会いに感謝しつつ、皆様の文化協会へのご期待をこの看板と共にまだ少し背負って、精進して参る所存でございます。



茶道と建築士のキャリアを

活かした発想で

貴方だけのお茶室を

ご提案致します。

(達州流)茶道 宗家直門

家元参与

江成宗夢(勝敏)

茶室コンサルタント

一級建築士

ヘルテージマネージャー

古民家鑑定士



株式会社 **さくら建物**



検索

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-5-10 Tel : 042-722-0003 ◎不動産のご相談承ります。

高校生とのコラボ

町田市文化協会 顧問 鷺北秀樹



一般社団法人町田市文化協会の皆様、私は同協会の顧問を拝命しております鷺北秀樹と申します。同協会設立の重要な目的の一つとして、町田市民に文化的な事業を享受することで、町田という街を文化の薫りがただようすばらしい街にすることだと思います。

現会長の高野会長はじめ歴代会長、そして会員皆様方の御努力により文化協会という組織が短期間に成長し、これからもすばらしい組織になると確信しております。

私は今、東京都立町田高校の同窓会会长を拝命しております、高校及び現役の生徒の皆様に同窓会としていろいろなことで応援できないかと考えております。

今年度の高校では、コロナ後初の一般客を入れての「学園祭」を計画しております。

そこで、同窓会として文化協会の協力をいただき、現役生徒の茶道部とコラボした「御茶席」を用意できないか、また、華道部の展示があれば協会に「迎花」の用意ができないかと考えております。今後、高野会長と御相談しながら企画してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。文化協会が町田市民と共にいろいろな事業を展開し、文化の薫りただようすばらしい街にしていきましょう。

都立町田高校同窓会

会員相互の親睦を図り
文化教育活動の支援を通して
母校の活躍・発展を応援しています

新卒業生も活躍しています！
OB/Gの皆さまの参加をお待ちしています
総会と懇親会あり
会長 鷺北 秀樹

お申込み
お問い合わせは
こちらから

QRコード

「親子で親しむ茶会」について

町田茶道会 副会長 有賀仙陽

秋の文化祭に町田茶道会では、通常の茶会と並んで、大事な催事「親子で親しむ茶会」があります。お茶って何？おいしいの？など、子供達の声を聞き、お茶に興味のある親子の体験教室を開いたらどうかと、会員の意見が一致し、市の教育委員会のご賛同を得て、平成17年秋の文化祭から「親子で親しむ茶会」としてスタートしました。その後も、教育委員会からは様々なご協力をいただいております。最初は会場づくりも大変で、市民ホールのサロンの片隅に畳を敷いてもらい会場を作ったこともあります。今はホールの第二会議室に会場を作ってもらいます。体験の仕方や道具選びなど、試行錯誤を繰り返し、今の型に落ち着きました。まず会員によるデモンストレーション、お点前の基本の流れを見てもらう。お菓子を食べ、会員の点てたお茶を飲む。家族ごとのグループに分かれる。指導者は茶碗に抹茶を入れ、湯を入れて、茶筅の振り方を教える。“茶筅を振って茶を点てる体験”です。泡が立ち始めると大喜び、お茶を初めて点てたとうれしそうな家族などなど、ほんとに楽しい親子の体験教室です。昨年秋の会で19回目、104名の参加でした。

この会が永く続き、少しでも茶道に関心を持ってくれる子供たちが増えることを願い、これからも会員一同努力していきたいと思っております。



おもてなしの心

町田茶道会 館山宗春

町田茶道会では現在、市内の小学校6校の6年生の茶道体験学習に伺っております。

およそ20年前、高野会長が副校長会で学校茶道の大切さをお伝えして始まりました。コロナで途中やむなく中断はございましたが、その時からの6校が工夫を凝らしながら続けております。学校やボランティアコーディネーターの皆様のご協力のおかげと感謝しております。

〈特集 文化を伝える〉

約90分の授業で子供たちに茶道の何を伝えるのか。この時代だからこそ、おもてなしの心の大切さを体験の中から学び取ってもらいたいと強く思います。

授業が始まると茶道会の先生が並んで子供たちを迎えます。着物姿できちんと座っている先生方の姿に子供たちの緊張が始まります。初めに会長から茶道の精神である「和敬清寂」の意味のお話があります。そしてことばは無くても心を込めたお辞儀すなわち「礼」の形で相手に気持ちを伝える事が大切で、担当の先生から真・行・草の意味と姿勢の違いを教わります。

デモンストレーションで相手を思っていかにおもてなしするか、もてなされる方もその心を感じ取ることが大切であり、場面 場面での礼の違いを実際に見ながら感じてもらいます。その後実際に自分でお茶を点てる、先生方が点てたお茶をいただく体験。子供たちはこれが一番楽しいのですが……。

みんな揃っての最後のご挨拶の時に会長が「真の礼で終わりましょう」と声をかけると、一斉にお辞儀。その姿に微力ながら「おもてなしの心」を伝えることができたのかなと思う瞬間です。



町田市立小学校茶道体験

町田茶道会

茶道体験を行っている学校（90分授業×クラス数）

町田第三小学校
本町田東小学校

忠生第三小学校
小山中央小学校

本町田小学校
相原小学校



「和敬静寂」の心で



デモンストレーション



お菓子の頂き方



礼の仕方 座礼



礼の仕方 立礼



お茶を点てる

〈特集 文化を伝える〉



点てたお茶を頂く



図工の時間で作成した
お茶碗でお茶を点てる

密を避け、体育館に設えを
しての体験授業



コロナの為、リモート授業を行う。お茶室にて撮影
教室で映像を見ながら担任が指導



子どもとともに地域で学ぶいけばな

町田華道協会 小川 陵華



町田華道協会では市内の小学校のサマースクールで子供たちに生け花の指導をしています。この活動は学校と地域を結ぶボランティアコーディネーターの方からの依頼で、すでに10年以上続いている活動です。

参加した子供たちは初めての花鉢や剣山などに苦労しながらも作品を完成させて、「初めてだけど楽しかった」「花の顔をよく見るのが大切だとわかった」等、伝統文化に親しみを感じてくれています。

その他にも中学校の美術の時間に生け花の講義をし、中学の美術部の生徒と一緒に新年の迎え花を制作して1か月ほど展示するなど、教育委員会からもその活動が認められ、指導した華道協会の会員が表彰を受けております。

また、市内小学校の放課後事業の「まちとも」内でもいけばな教室を開催して、学校内や地域のイベント、市民文化祭に参加して日頃の稽古の成果を発表しています。



地域と協力しながらの地道な活動ではありますが、少しでも伝統文化の継承と理解につながればと思い、日々活動しています。



囲碁いろいろ 一学童保育へー

町田市囲碁連盟 会長 倉橋 幸二

真光寺会館の囲碁サークルがリーダーのIさんの逝去により解散となった。については碁盤などの処分を頼まれ、町田市文化・国際交流財団支援室に相談したところ社会福祉協議会で13セット引き取ってくれることになった。

市民ホールの倉庫に保管していた不要在庫も併せて処分でき、やれやれと思っていたところ囲碁セットを送った8カ所の学童クラブへ指導に来てくれないかとの依頼。

とりあえず近所の鶴川第四小学校の学童保育クラブへ行ってみた。子供たちが大勢いて元気がいい。碁盤を広げてみたらすぐに寄ってきて「これなーに」「これどーするの」…「これは囲碁といつて覚えると面白くて、頭もよくなるんだよ」と言っているうちに白石と黒石を混ぜて床に放る子もいる。「五目並べって知ってるかい、縦でも横でも斜めでも5つ並べたら勝ちだよ」、「知ってるー、やってみよー」数人の子供たちとやっていると膝の上にのっかかるくる子もいる。そのうち「将棋しょー」と言って将棋のお相手もする羽目に。ついつい将棋も五目並べも勝ってしまう…うまく負けなきゃと分かっているが。



そのうち「先生はどこから來てるのー」「先生とやりたーい」とか言われると“先生と呼ばれるほどの馬鹿でなし”なんてことわざを思い出すが悪い気はしない。



歌いながらやる子もいる。興奮してか時折奇声を発する子もいる。負けて泣きだす子もいる。恥ずかしがってやらない子もいるかと思えば横から解説する子もいる。

初回は疲れて帰宅するとヘロヘロで寝込む羽目になった。ブックオフで漫画「ヒカルの碁」全23巻とやさしい子供向け入門書を購入し本棚に並べてもらった。

囲碁は教えるのが難しいので、取りあえず五目並べを続けていくが興味を持つ子も出てきた。当初週に一回だったが、今後は週2回にしようと思っているが結構大変だ。ま、これも碁縁というものだろう。この経験を活かし暇な囲碁愛好高齢者にも学童クラブへの参加を勧めていこうと思っている。



子どもの個性がはじける！みんなの児童作品展

MOA町田みんなの児童作品展実行委員会 副実行委員長 白鳥 明

MOA美術館主催の児童作品展は国内・海外の約300会場で行われております。町田市では、「町田みんなの児童作品展」として町田市立国際版画美術館を会場に開催しており、今年で29回目を迎えます。各会場でトップ賞を受賞した作品は全国展に出展され、そこで改めて審査が行われます。町田会場から出展した作品が、平成30年度、令和元年度の2年連続で、大臣賞を受賞したこともあります。

当児童作品展に出展される作品は、自由な発想で明るくのびのびと作成されたものが多く、来場者が児童の作品に感動されている様子がうかがえます。また、児童が作品を作成する時に感じたこと、苦労したことなどを感想文にまとめて作品とともに提出してもらうことも特徴のひとつです。感想文を読んで作品を鑑賞すると、その児童の視点で作品を見ることができ、また違った見方で作品を楽しむことができます。

今年の児童作品展は、10月25日（金）午後～27日（日）に版画美術館・市民展示室で開催されます。また、翌週の10月29日（火）～11月2日（土）午前まで、町田市民病院で移動展も行います。子供たちの作品に刺激を受けることは間違いないです。1月にMOA美術館で開催される全国展もあわせて、一度、会場にお越しくださいませ。



【寄稿1】

ごあいさつ

町田市立国際版画美術館 館長 大久保 純一

町田市文化協会の皆様には、町田市民美術展などで当館展示室をご活用いただき、誠にありがとうございます。

当館は町田市立の美術館として、その存立には市民のみなさまのご理解とご協力がなくてはなりません。古今東西の芸術に目を向けたとき、作家や作品の誕生をそれらを取り巻く時代や社会環境と切り離してとらえることはできません。芸術を愛し理解のある人々に恵まれるという豊かな土壤があつてこそ、すぐれた作家や作品も生み出されているのです。



同じことは美術館活動にもいえるかと思います。当館が展示活動や工房・アトリエでの普及事業、あるいは作品研究や収集活動に成果を上げることは、美術館側だけの努力で成しえるものではないでしょう。美術を深く愛し、理解する多くの市民のみなさまのご支持が不可欠です。その意味では、芸術活動に関わる多くの団体と会員の方々からなる貴協会の日ごろの熱心なご活動を通して町田市の文化振興がはかられることは、市民のみなさまの当館活動へのご理解が深まることにもつながるものと考えます。今後とも、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますのご発展と、会員の皆様のご活躍をお祈り申し上げまして、ご挨拶の言葉といたします。

皆様の「町田の当たり前」は何ですか

町田市立博物館 館長 伊藤嘉章

町田市立博物館は工芸を専門とする美術館に生まれ変わろうとしています。工芸とは「私たちの側(がわ)にある美術」です。そこで目指すのは、工芸が共にあることで生まれる心の豊かさが「町田の当たり前」になるということです。

開館に向けて様々な試みをしています。国際版画美術館での「キラキラ・ころころ ことばと楽しむ工芸作品！」展では町田市俳句連盟の皆様の句で工芸がより身近なものへと。中央図書館での写真パネル展「いけばな×花器」では町田華道協会の皆様の手で花が活けられることで器に生命が。体験講座では触れてみる、作ってみる、使ってみるから、様々な楽しみが広がるように学芸員が工芸作家の方々と知恵を絞りました。

私たちが目指す工芸美術館は欲張りです。より多くの方々が工芸の世界に触れていただけるように「間口を広く」。そこにしっかりととした「奥行きと高み」の世界を作っています。入ってみたくなり、入ったら楽しくて、それでいてとても深いものがある…というように。 そんな形で私たちは「工芸のともにある世界の豊かさ」を「町田の当たり前」にしていきたいのです。皆様の「町田の当たり前」は何ですか。



いけばな×クメールの水注（作品：11～12世紀／いけばな制作：草月流 福島麗草）

町田華道協会創立70周年を終えて

町田華道協会 会長 鈴木螢梢

創立70周年記念式典祝賀会は、2023年10月14日レンブランチホテル東京町田で開催しました。前身であります「いけばな同好会」から始まり、市の発展に伴い昭和43年に町田華道協会が発足いたしました。諸先輩、先生方のたゆまぬ努力で、今日を迎えることができました。一部では、迎え花龍生派紹介、御来賓挨拶、町田市長 石阪丈一様始めご挨拶をいただきました。二部では、創立者紹介、五十子名誉相談役への感謝状並びに花束贈呈、歴代会長7名紹介、在籍40年以上紹介、記念品贈呈。余興といたしまして、文化協会会員から、民謡、(一財)町田市文化・国際交流財団理事長 高橋豊様指揮によるマンドリン演奏等、大好評でした。70周年を迎える準備に、時間と労力を費やしましたが、いけばなは、地域に根づき心の癒しとなり、心の文化になってくれることを願います。

80周年に向けて細く長い道程を会員一丸となって歩み続けます。

ご支援お願い申し上げます。



きもの好きな人集合！！

- きもの無料体験（きものの着方と帯結び 1回のみ90分）
※以下は有料
- 着付けも受け付けます。（要予約）
- 結婚式やパーティなどの留袖、振り袖、
訪問着の着付けもお受けいたします。（要予約）

ハクビ京都きもの学院

講師 田所伸江

※連絡先 070-4175-6580



【寄稿2】

ご挨拶

(一財)町田市文化・国際交流財団文化団体支援室長 佐藤 浩子



本年4月から(一財)町田市文化・国際交流財団の文化団体支援室長となりました佐藤でございます。

教育委員会の生涯学習部長だった頃には、町田市民文化祭や新春文化の祭典の折に皆様の活動を拝見させていただくだけでしたが、これからは前任の宗田室長が築いてきた町田市文化協会の皆様との良好な関係性をしっかりと引き継ぎ、対話を大切にしながら各加盟団体の活動につきましても理解を深めてまいりたいと考えております。

さて、昨年5月に新型コロナウィルス感染症拡大による行動制限が緩和されてもう一年が経過いたしました。世の中はすっかりコロナ禍以前に戻り、各種文化・芸術活動も活気を取り戻してきたことと存じます。先日、町田市文化協会事務所の看板掲出に立ち会わせていただきました。その際にも高野会長をはじめ理事の皆様の熱意に圧倒され、今後、町田市文化協会の加盟団体それぞれの活動がより一層充実・活発化するとともに、町田市の文化振興を多くの市民の皆様が実感できるよう努めていかなければと気持ちが引き締まった瞬間でございました。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

「俳句をまなんて」

町田俳句連盟 会長 三遊亭らん丈

近代にはいり、正岡子規は江戸時代末期以来の低俗な俳諧を否定し俳句も文学でなければならないとして写生を唱え、与謝蕪村の客觀美・絵画美を高く評価しました。その子規に、次の句があります。

六月を奇麗な風の吹くことよ



この句を子規がじっさいに詠んだのは、明治28年の7月のことでしたから、そのとおりに句作し、七月を奇麗な風の吹くことよ、としては句が台無しになってしまいます。梅雨で湿った6月に奇麗な風が吹くところにこの句の手柄があるからです。

子規を通じて俳句に接したのが、河東碧梧桐と高浜虚子です。その後碧梧桐は、自由律の俳句を詠むようになります。たとえば、次のような句です。

曳かれる牛が辻ですつと見廻した秋空だ

それに対して、虚子は「俳句を作るには写生を最も必要なる方法とします」という。その虚子が26歳のとき、虚子一代の傑作を詠みます。

遠山に日の当りたる枯野かな

告白すると、虚子のこの俳句をはじめて読んだとき、どうして名句といわれるのか、見当がつかなかったものです。ところが、今はこの句を紛う方なき名句だと思うようになりました。これが、俳句をまなんだ甲斐があったというものかもしれません。

ごあいさつ

町田市人形文化連盟 会長 松岡みゆき



昨年の秋の市民ホール第45回文化祭の人形展では、26人で40点を展示し大変に華やかになりました。人形の種類は木目込み・市松・押絵・粘土・球体関節・手まり・ぬいぐるみ・と多彩です。素材には布・粘土・木・りんご・手毬などです。又、ご遺族様のご厚意で、故安藤様の遺作も展示。さらに、川本喜八郎さんらの著名な人形作家が参加した「清潔で正しい子供の為の絵本」も提供頂き展示。コロナ前の「ワークショップ」を再開し「押絵のキーホルダー」を指導しました。多くの来場者の皆様から「人形に癒されました」と感想があり、会員一同、嬉しく励みになりました。会員の方が、人形展を1冊の本に仕上げて頂き感無量です。

次に今年の春の市立国際版画美術館「第49回市民美術展」で、人形6点と押絵10点を展示。武相新聞が町田市美展を「心潤す力作300点」と題して、人形と押絵を写真入りで掲載頂き、会員は感動し励みとなりました。木目込み・創作・桐塑粘土・押絵。押絵は「江戸の商い」10人による連作で「祝かご・わらじ売り・铸掛け屋・灰売り・ろうそくの流れ買い等」江戸の暮らしを緻密に再現され、来場者も見入る程の好評でした。

各会員は、自宅展示・個展開催・都美術館で入賞。さらに会員の中には海外展示でチェコ・プラハに渡航と皆さんが全力で創作しています。今後も会のテーマ「人形を愛して」で会員一同、皆様に喜んで頂けるよう心を込めて人形を制作して参ります。

ご挨拶

観世流能楽師 梅若紀佳



町田は私にとって特別な場所です。武相荘の女主人、白洲正子さんは能楽を愛し、戦時中には梅若家の能面装束を預かり、支えて下さいました。彼女は能について多くのことを書かれ、その深い理解には感服致します。彼女はまた、初めて女性として能舞台に立った方でもあり、彼女の存在がなければ、私も能楽師になることはできませんでした。

お陰様で、1月に鶴川のポプリホールで「女性能楽師と能を愉しむ」と題したワークショップを開催し、多くの方に能の謡や舞に親しんで頂きました。謡の体験では、「岩船」の一部分「宝の御舟を付け納め。数も数万の捧げ物。運び出だすや心の如く～」を力強く謡って頂き、その声は上の階まで響き渡り、龍神が宝の船を引く様子が目に浮かびました。

このようなワークショップを通じて、より多くの方に能に興味を持っていただき、能のお稽古や舞台鑑賞に足を運んでいただければと思います。

約700年続く能楽を次の世代へと継承していくために、今後も努力して参ります。



さくらんぼの実る頃

町田市シャンソン文化協会 会長 斗南良子

風薫る5月、そして水無月の声が聞こえてくると、今年も折り返し地点。

青々とした新緑の葉をつけた枝の先は小さなさくらんぼが揺れ、店頭には瑞々しい実が並ぶ。

「さくらんぼの実る頃」というシャンソンがある。1868年に発表された古い歌で、加藤登紀子がフランス語と、自身の訳詞で歌い、ジブリの「紅の豚」の挿入歌として記憶に新しいのではないだろうか。

1871年 フランス。労働者の革命、市民の手による世界初の政権、パリ・コミューンが樹立した。しかしながら、軍との激しい市街戦が繰り広げられ、たった2ヶ月間で崩壊した。

看護婦のルイーズはさくらんぼを摘んだ籠を手にバリケードを訪れ、自らの危険を顧みずに負傷者の手当にあたったが、命を落してしまう。

パリ・コミューンの一員であったジャン=バティスト・クレマン(Jean-Baptiste Clément)作詞、テノール歌手のアントワーヌ・ルナール(Antoine Renard)作曲【Le temps des cerises／さくらんぼの実る頃】元々は儂い恋と失恋の悲しみを歌った曲だったが、パリ・コミューンが政府軍に弾圧された「血の一週間」を象徴する歌として、反戦歌としても今でも歌い継がれている。

旋律の美しさ。情感と余韻。

日本語訳詞は工藤勉や薩摩忠バージョンもあるが、コラ・ヴォケールが語るように歌う声が胸に迫る。シャンソンの起源ともいわれている「さくらんぼの実る頃」。この季節には歌いたい曲のひとつである。湖畔にたつ桜の樹に実った小さなさくらんぼを見上げながら、今も世界各地で起きている争いごとを憂い、生きることへの想いを馳せた。

古稀ということ

町田市吟詠連盟 竹井鶴迢

町田市吟詠連盟の理事となり、いつの間にか7年が過ぎ就任した時にはぎりぎり60代で若手とおだてられ、走ってまいりました。気が付けば後期高齢者の仲間入りですが、世間ではごく普通の事のようです。70歳のことを古稀と言いますが、70歳をすぎると一年の時間が短くなっているようにも感じます。古稀という言葉は漢詩の中の「人生七十古来稀なり」という一節に由来します。ただこの漢詩については意外と知られていません。

この一節は盛唐の詩聖とよばれた杜甫の「曲江」という七言律詩の前半の最後に出てくる句です。その前半部分だけ紹介します。

朝より回って日日春衣を典す
毎日江頭醉を尽くして帰る
酒債尋常行く処に有り
人生七十古来稀なり

朝廷から帰ると春着を質入れし、酒を買い毎日
曲江の畔で酔うまで飲んで家に帰る
酒屋の借金は当たり前でいたる処にある
どうせ人間七十まで生きることは稀なのだから
この時節に大いに飲むべきだ

杜甫は朝廷での仕事には、恵まれなかったようで、この詩は長安から左遷される前年の作品で47才の時のものです。

当時の詩人のなくなった時の年齢は、李白61才、杜甫58才、白居易75才、杜牧49才大体が70才前でなくなっています。 杜甫がこの詩で七十ではなく、別の年齢を入れたなら古稀も変わっていたかもしれません。



杜甫

町田演劇鑑賞会の紹介

NPO法人町田演劇鑑賞会 副会長 熊坂有美

NPO法人町田演劇鑑賞会(以下、鑑賞会)は、今年創立40年を迎えました。

1984年2月、「身近な町田市民ホールで演劇を定期的に観て、日々の生活の中に心の潤いを持とう」という趣旨のもと僅か18名で発足しました。現在は800名を超える会員が2ヶ月に一度の観劇を楽しんでいます。

鑑賞会は、年間6本の上質な演劇を鑑賞するサークル制・会員制の非営利の文化団体であり、2016年にはNPO法人として東京都の認証を受けています。

鑑賞会の40年間の活動の中で私たち会員は、200本以上の演劇作品と出会い、感動を共有してきました。今年創立40年という節目の年に町田市民文化祭に参加するにあたり、「～NPO法人町田演劇鑑賞会～ポスターと色紙にみる40年の歴史」と題して今までに上演した作品のポスター・色紙の一部を展示いたします。ポスターには、その作品への劇団や作者の思いが表現されており、作品の一つの顔とも思えます。

また、色紙は役者の舞台に込める情熱や役者それぞれの個性を字体から感じます。

この機会に多くの市民の方々に、芝居ポスターと色紙の魅力をご覧いただけたら幸いです。そして是非一緒に地元町田で、「演劇を通して人と人のつながりを広げ、こころ豊かな生活を！」(鑑賞会キャッチフレーズ) おくりませんか。

お問い合わせはお気軽に事務局までどうぞ！

〈2024年度これから上演作品〉

第214回例会「泰山木の木の下で」劇団民藝 7月30日・31日

第215回例会「コルセット」 劇団朋友 10月3日・4日

第216回例会「クリスマスキャロル」 劇団昴 12月10日・11日



音楽の泉紹介

音楽の泉代表 斎藤恵津子

音楽の泉は1990年にシャンソン・カンツオーネ・クラシック等の発表の場として立ち上げ、サロンコンサートを毎月2回、毎年町田市民ホールや相模大野のグリーンホールで巴里祭を続けて参りました。2022年7月に30周年記念コンサートをもって、巴里祭は終了しましたが、同時に新たな“音楽の泉”としてスタートをしました。

メンバーは38名と少なくなりましたが、毎月第2・第4木曜日にはJR成瀬南口にあるピアノサロン“マ・シャンブル”で、プロのシャンソン歌手を交えてのサロンコンサートを続けております。毎回14:30開演です。

年に1回の町田市市民文化祭、まほろ座でのコンサートも続けて参りたいと思っております。銀巴里で活躍されたピアニストの藤原和矢さんをはじめ、ドラムス野口廸生さん等ベテランのミュージシャンが支えてくださって楽しく歌っております。皆、元気で歌い続ける事が目標です。皆様も是非お気軽にお出かけくださいませ。



斎藤歯科医院

院長 斎藤潤一
斎藤恵津子(火・金 診療)

町田市成瀬台4-22-17

TEL.042-728-4086

診療日時

月・火 9:00~12:00
水・金 15:00~19:00

土 9:00~12:00
14:00~16:00

休診日 木・日曜日・祝日

新任ご挨拶

ハワイ音楽とフラを楽しむ会 会長 高橋 惣一

今般、ハワイ音楽とフラを楽しむ会を前任の生田晃会長より会長職を引継ぎました高橋惣一です。当会は2008年に設立以来16年になりますが文化協会の中では比較的新しいクラブではないかとおもいます。4組のウクレレクラブ、1組のフラチーム、1組のハワイアンバンドで構成しています。新型コロナの発生以来、老人施設等のボランティア活動が大幅に減りましたがそれぞれのクラブが独自に個別の活動を行っています。当会全体で行うのは、市民文化祭舞台部門でのコンサートとなっております。各クラブとも市民ホールの舞台での演奏・演舞には一年間の集大成として、日々練習に励んでおります。ただひとつ問題があり、それは年々高齢化が進んでおり世代交代ができないということです。それでも現状を維持しながらこの会の発展に寄与できたらと思っています。

これからも皆様のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願ひいたしますとともに、(一社)町田市文化協会の益々のご発展を祈っております。



CHACHABYボトル

CHA CHAっとなのに、おいしいの。

CHACHABY



CHACHABY

“日”々のなかに“日本茶”を

いつでも 日本茶を
もちろん 美味しく
シンプルな方法で楽しみながら
毎日つづけてほしい
そんな想いをカタチにしました



CHACHABYハウス



ボトルケース



詳しくはQRコードからアクセス！

www.whais.jp/whais_chachaby.html

一般社団法人 WHAIS 〒223-0059 神奈川県横浜市港北区北新横浜1-7-8



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

フラとハワイと日本とは

東京都町田市フラ協会 石橋國彦

日本ではフラダンスという言葉が使われますが、フラは踊りと言う意味なので踊り踊りになってしまいます。意味もわからずに日本に広まりましたが本来は豊作や漁や航海の安全などを願う祈りでした。楽しく華やかなものではありません。

太鼓やひょうたんの打楽器を使いお経を唱えるように歌い踊ります。現在でも行われ、私共は古典フラ カヒコとよんでいます。男性が主として踊りましたが木の葉やふんどしで踊っていた為にキリスト教の普及と同時に野蛮とされ禁止となりました。それから何年も経ちハワイ王朝7代目のカラカウア王によって観光の為に新たに現在の楽しく華やかなフラが誕生しました。

皆さんがご存じなのはモダンフラ アウアナと呼ばれているものです。カラカウア王は1881年に日本を訪れ明治天皇と会談されました。姪であるカイウラニ王女を嫁がせる話もでたくらい日本をとても好んでくれていました。その為日本からの移民を多く受け入れました。ハワイの観光、そしてフラを復興し楽しませてくれているのはカラカウア王のおかげなのです。

ハワイでは毎年陽気な王様と称えられフラフィステイバルが開催されています。きっとハワイのフラが大好きな日本で広まったことを喜んでいることでしょう。よろしくお願ひ致します。



ごあいさつ

ナベ音楽協会 会長 白橋璃沙



この度、ナベ音楽協会の会長に就任しました白橋璃沙でございます。

まず初めに日頃より当協会を支えてくださっている皆様に心より感謝を申し上げ前田の茂野会長が築いてこられた基盤の上に私も努力をしてまいりたいと存じます。私自身、幼少の頃から歌やダンスに親しんでまいりました。その後、ピンク・レディーの振付師土居甫先生の元で歌番組で踊り始めたのをきっかけにミュージカル・ライブ・振付の仕事やダンスチームの活動を経て中高年の心と体の健康を目指す歌謡曲で踊る教室を開講し今に至ります。

この活動の経験から音楽やダンスが人の心を繋ぎ感動を共にする力を持っていると実感してきました。ダンスを通じてかけがえのない仲間も出来て人生において辛い時も音楽やダンスが私に光を与えてくれたおかげで今があります。これらの体験を通じて私は音楽やダンスの持つ力に深く感銘を受け文化活動の重要性を再認識しました。

音楽やダンスは人々の心に響き時には言葉の壁も超えて社会の絆を強める大切な役割を果たしています。音楽協会も地域の皆様に音楽やダンスを通じて文化体験を提供し文化の力で活力を高めることを目指して活動していきたいと思っております。

「民謡協会42周年大会を終えて」

町田市民謡協会 会長 志賀叶祥

日頃大変お世話になっております。

このところ寒暖の差が激しく体の調子がとりにくく日中でも冷房と暖房を使っている日が何日かあり、皆様方の体調を察しております。

文化協会の皆様方の活躍力は素晴らしい私共民謡協会をも参加させていただき嬉しく思っております。



コロナの時期を超え、ようやく落ち着きをみることができました。

私共町田市民謡協会も先日5月6日創立42周年の演奏大会を市民ホールで迎え、充実した楽しい1日を迎えることができました。

私自身音羽会として創立30周年記念の発表会を昨年5月7日に町田市民フォーラムにて、町田市民謡協会の各先生方に全員出演していただき記念になる1日を迎えることが出来、思い出に残る1日となりました。



これからも会員の皆様方と日々のお稽古に励み、楽しい毎日を過ごせますような活動をしていきたいと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

「ツナガルたのしさ！町田+文化+WHAIS」

WHAIS事務局長／プロデューサー 一級建築士 久保田昭子

代表の岡野美紀子が町田在住ということから、町田とWHAIS(ワイズ)のつながりが始まりした。ポップ町田で「暮らしのワイワイ教室&家づくり展」を開催したのは8年前の2016年のことです。一週間にわたり開催したイベントは町田の皆様と触れ合えた最初だったと思います。そんなワイズも今年は創立15年法人化10年の節目を迎えることとなりました。沢山の皆様と素敵なつながりがあったからと感謝しています。今年のワイズ総会と特別記念講演は(一社)町田市文化協会の後援もいただき、町田文化交流センターで7/12日に開催します。タイトルは「福祉をまちの風景に」。特別講師は馬場拓也氏。町田の皆様や福祉や街づくりに係る行政の方々にもお聞きいただき、微力ながら「いいことふくらむ町田」のお役にたてたらと企画しました。

昨年の活動は、町田市民文化祭と町田市民美術展に出演しました。文化祭では「ワイズ展」と題してワイズメンバーの仕事を紹介しました。ワイズはそれぞれ独立した事務所を持つメンバーが集まって活動する場です。建築家、現場監督、デザイナーがプロジェクトに合わせて力を發揮しています。KURUPLABO(クラップラボ)は暮らしアップを応援するワイズプロジェクトです。文化祭ではクラップラボセミナーを開催しました。日本茶を応援する「和っ茶プロジェクト」からはCHACHABYの販売も行いました。リピーターのお客様も多かったのが嬉しかったです。町田でのワイズ、これからもよろしくお願ひいたします。

【令和6年度 町田市文化功労賞受賞者の皆様】

町田市文化芸術功労を受けて

町田市書道連盟 副会長 齊藤千賀子(千尋)



この度は町田市文化芸術功労をいただきまして誠に有難うございました。思いもかけぬ表彰に只々驚きの気持ちでいっぱいです。

表彰式当日はオーケストラに迎えられ、厳肅な雰囲気の中、少し落ち着いたムードに切り替わる事ができました。

文化協会に属し町田の文化芸術功労に参加できたことに感謝申し上げます。

これからも自分の出来うる限り、町田市の力に少しでもなれます様、努力したいと思っております。今まで以上にご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

町田市文化芸術功労賞をいただいたて

町田茶道会 副会長 西村雅仙



5月12日、町田市文化交流センターに於きまして、文化芸術功労賞を市長より頂戴致しました。皆様のご好意、ご尽力、高野会長のご推薦に感謝申し上げます。

20歳過ぎ、会社への往復のたび、清められた庭、茶室の窓から着物姿の立ち居振る舞いに見とれ、いつかは私もと……、あれから60年近く、御縁の方々に助けられ、茶道を続ける事ができました。利休居士が茶の湯の精神を要約した言葉で、「和敬清寂」があります。お互に心から和し、敬い合い、清らかな気持ちで交会する、として不動の精神、肅然不動の大きな心を持つ。学校茶道で必ず高野会長が生徒たちに説明なさいます。これは茶道の心としてではなく、人生訓としても大事なことと考えます。今日、インターネットやメール等で言葉を語らなくても過ごせる時代になりました。しかし、人様に対しての気遣い、思いやりは勿論、あらゆる芸術大成の茶道は、今日こそ必要なものと思います。この賞状を頂いた機会に、少しでも多くの人たちに茶道を普及して参りたいと思っております。ありがとうございました。

町田市文化芸術功労賞を頂いて

町田華道協会 顧問 広瀬啓友



顧問になって3年です。役員として休みなく続けてこられたのは会員の皆様が見守っていてくれたからと思っています。振り返れば、退職後、一葉式いけ花の本部で色々なことに挑戦し始めたころで、華道協会の役員の仕事が舞い込んできました。

副会長を任命されたころから、華道協会の方に重きを置くようになってしまいました。会長の時、コロナウィルス感染拡大を懸念して取りやめる行事が多くありました。何とか会員一同協力して乗り越えてきました。

5月の良き日 町田市より文化芸術功労賞を頂きました。
長年にわたり華道協会の役員として働いてきたことが評価され、推薦に至ったそうです。心からうれしく思いお受けしました。

最後に華道協会に関わる多くの人々に出会えたこと、又その人達との交流、良くしていただいたことに感謝するばかりです。

町田市民文化祭 秋の催し

会場：町田市民ホール・まほろ座MACHIDA

令和5年10月～11月



式典 高野会長 開会のあいさつ



イラストレーターのやまわきりえこさんに感謝状贈呈



J Aの野菜販売



岩田マンドリーノ・シンフォニカ



町田市吟詠連盟



陶芸体験



書道連盟と華道協会のコラボ



町田市舞踊連合会



お茶会



楽友協会



国際交流部会茶道体験



ハワイ音楽とフラを楽しむ会



むかし袋の会



町田演劇鑑賞会



ナベ音楽協会



音楽の泉



町田市俳句連盟



折り紙教室



市民陶芸展



町田市シャンソン文化協会



囲碁大会



町田市民謡協会



盆踊り



町田ジャズを楽しむ会



学童保育クラブ絵画展



(一社)WHAIS



東京都町田市フラ協会

町田市民文化祭 春の催し

令和6年2月24日～3月3日



開会セレモニー



表彰式



絵画



絵画



絵画



書道



席上揮毫(学生)



席上揮毫



陶芸



絵画



人形



写真



写真

新春文化の祭典 in 鶴川 2024

令和6年1月6日～8日



シャンソン文化協会



町田市舞踊連合会



町田華道協会歴代会長



町田市囲碁連盟



町田茶道会



謡初め 梅若先生のワークショップ



町田市吟詠連盟



映像文化研究会 折り紙教室

令和5年度 賀詞交歓会

令和6年1月27日(土)



高野会長挨拶



石阪市長ご挨拶



小倉衆議院議員ご挨拶



東京町田学園井上理事長ご挨拶



町田市議会議員ご挨拶



財団のみなさま



町田市舞踊連合会



町田市議会議員ご挨拶



大西常任顧問ご挨拶



町田市民謡協会



東京都町田市フラ協会



町田Jazzを楽しむ会



迎え花

第1回研修事業「国際議事堂と大臣室の見学」

令和5年6月13日



小倉大臣室



国会議事堂前



小倉大臣室

市美展ファイナル企画 第2回研修事業 伊藤富貴子さんコンサートと大久保館長講演会

令和6年3月10日



伊藤富貴子さん



広重作品の魅力



大久保純一館長



さくらまつり

令和6年3月30日～31日

尾根緑道さくらまつりに参加して

尾根緑道部会 竹井 敏夫

今年のさくらまつりは 3月30日、31日の両日市内3会場で開催されました。

文化協会は例年通り尾根緑道の会場へ、舞台2団体、テント3張りにて参加いたしました。

毎年、天気模様と、桜の開花に左右されますが、今年は二日間暑いくらいの天候に恵まれましたが、桜が一週間遅れ残念なまつりとなりました。それでも両日で26,600人の市民の方がご参加いただき大盛況でした。舞台参加の舞踊、フラ両団体とも熱演でお客さまを湧かせ、協会本部テントでの花供養にも多くの方が花を活けていただきました。同時に開いた、能登半島地震への義援金にも多数の方の御支援が寄せられました。心より感謝申し上げます。



東京都町田市フラ協会



町田市舞踊連合会



本部テント花供養



NOZAWA & NAKANO

野澤・中野法律事務所



045-319-6443

横浜市中区真砂町4-43 木下商事ビル8階



(一社)町田市文化協会 令和5年度 活動記録

令和5年4月1日～令和6年3月31日

〈敬称略〉

令和5年

4月1日(土)・2日(日) 2023町田さくらまつり

於:尾根緑道

舞台:町田市舞踊連合会、東京都町田市フラ協会

展示:町田市美術協会 町田市文化協会

文協通信78号(4月1日号)発行

後援事業

2023年度第205回例会～第210回例会(主催:町田演劇鑑賞会)

於:市民ホール

4月10日(土) 第1回実行委員会

於:市民フォーラム

後援事業

4月16日(日)～令和6年3月17日(日)月例茶会(主催:町田茶道会)

於:文化交流

4月21日(金) 第1回役員会

於:文化協会事務所

後援事業

4月22日(土)第41回町田市民謡協会演奏大会(町田市民謡協会)

於:市民ホール

5月8日(月) 第1回運営委員会

於:町田市民フォーラム

5月15日(月) 監査平野清監事、齊藤千尋監事、高野会長、岡野理事、鈴木理事他 於:町田市民フォーラム

5月17日(水) 第4回町田さくらまつり尾根緑道部会(加瀬副会長 竹井理事出席)於:忠生市民センター

5月22日(月) 第1回理事会

於:町田市民フォーラム

定時総会に向けて。事務所開設について。町田市文化功労賞に倉橋前副会長、浅野目前副会長、小林俳句連盟前会長。研修事業(国会見学)について等

後援事業

6月4日(日) 創立五十五周年記念吟詠大会(町田市吟詠連盟)

於:町田市民フォーラム

6月5日(月) 第2回役員会

於:町田市民フォーラム

6月7日(水) 文化協会事務局員 加藤朱美さん 初出勤

令和5年度 一般社団法人 町田市文化協会 定時社員総会

開催日時:令和5年6月11日(日)午前10時～12時

開催場所:町田市民ホール

出席社員数 総社員数:71名 出席社員数:63名(本人出席 47名 委任状出席 16名)

議長 代表理事 小日向佳子(高野宗佳)

出席役員 理事 小日向佳子(高野宗佳)、三竹和行、加瀬友一、館山はるみ、

岡野美紀子 鈴木京子、大谷光雄、竹井敏夫、池田博一、黒崎聰史

監事 平野清



出席者 町田市長代理 赤塚慎一 副市長、町田市議会 戸塚正人議長
 町田市文化スポーツ振興部 篠崎陽彦部長
 (一財)町田市文化・国際交流財団 高橋豊理事長、宗田隆由専務理事
 常任顧問 大西宣也、新井吼優 顧問 鶩北秀樹、森和秋

報告事項

1. 令和4年度 事業報告の件

決議事項

第1号議案: 令和4年度決算承認の件

第2号議案: 令和5年度 事業計画案及び予算案承認の件

全て承認される



6月11日(日) 総会後懇親会 出席者61名 於:市民ホール

6月13日(火) 第1回研修事業「国会議事堂と大臣室の見学」参加者47名

6月16日(金) 町田市民文化祭「春の催し」第49回市美展第1回打合せ 於:市立国際版画美術館

後援事業

6月25日(日) 岩田マンドリーノ・シンフォニカ第60回記念演奏会(主催:岩田マンドリーノ) 於:市民ホール

7月10日(月) 第3回役員会 於:市民ホール レストラン

町田の文化第31号発行 配布

文協通信79号(7月1日号)発行

8月2日(水) 第4回役員会 於:市民ホール レストラン

8月18日(金) 町田市民文化祭「春の催し」第49回市美展第2回打合せ 於:市立国際版画美術館

8月18日(金) 午後第5回役員会 於:市民ホール

8月18日(金) 農協訪問 高野会長、大谷次長 財団:宗田専務

後援事業

8月30日(水)～9月3日(日) 第29回アートコンテスト 町田市展(主催:町田市美術協会)



於:市立国際版画美術館

9月2日(土) 第6回役員会(緊急) 於:文化協会事務所

「市美展事務局」移管の件。

文化祭ポスター・チラシ

9月4日(月) 市役所へ自治会連合会への文化祭ポスター配布依頼(会長、宗田専務)

9月4日(月) 第2回運営委員会 於:町田市民フォーラム

令和5年秋の文化祭について等。 文化祭ポスター・チラシ納品・配布準備

9月11日(月) 第2回実行委員会 於:市民ホール

令和5年秋の文化祭について等。 文化祭ポスター・チラシ配布

9月25日(月) 第7回役員会 文化祭プログラム配布 於:市民ホール

後援事業

10月3日(火)～8日(日) 第63回町田市書道連盟展(主催:町田市書道連盟)

於:市民ホール



10月9日(月) 第2回理事会

於:市民ホール

後援事業

10月14日(土)・15日(日)第70回町田華道協会 記念華道展(主催:町田華道協会)於:文化交流センター

10月13日(金) 第1回町田さくらまつり尾根緑道部会(竹井)

於:忠生市民センター

10月14日(土) 多摩市民文化祭オープニングセレモニー出席(館山)
文協通信80号(10月1日号)発行

10月23日(月) 第8回役員会

於:市民ホール

10月8日(日)～11月5日(日) 第45回町田市民文化祭秋の催し



10月8日(日)音楽の泉 10月29日(日)町田Jazzを楽しむ会 於:まほろ座MACHIDA

10月31日(火)～11月5日(日) 10月31日(火)記念式典 於:市民ホール

参加者:延べ約15,000 スタンプラリー回収 約450



後援事業

MOA美術館 町田みんなの児童作品展(主催:MOA美術館 町田みんなの児童作品展実行委員会)

11月3日(金)～5日(日)於:市立国際版画美術館 7日(火)～11日(土) 於:町田市民病院

11月27日(月) 第9回役員会

於:市民ホール

12月11日(月) 臨時社員総会 午前10時～11時40分

於:市民ホール

出席者:社員総数71名 出席社員数64名(本人出席44名 委任状20名)

理事役員10名、監事2名、常任顧問2名、

(一財)町田市文化・国際交流財団 高橋理事長、宗田隆由専務理事

上半期活動報告、大西常任顧問 秋の叙勲 勳四等旭日小綬章受章の件、下半期活動方針等

12月13日(水) 第2回町田さくらまつり尾根緑道部会(竹井)

於:忠生市民センター

令和6年

文協通信81号(1月1日号)発行

1月6日(土)～8日(月・祝) 第11回新春文化の祭典in鶴川2024 於:和光大学ポブルホール鶴川

来場者:3日間延人数 総計2,100名

後援事業

1月13日(土)～14日(日)第63回 町田市小・中学生書初展(主催:書道連盟) 於:市民ホール

一般社団法人町田市文化協会会长賞授与



1月15日(月) 第11回役員会

於:町田市民フォーラム

1月20日(土) 八王子文化連盟新年会(池田理事出席)

於:八王子日本閣

1月15日(月) 第11回役員会

於:町田市民フォーラム

1月27日(土) 賀詞交歓会 参加者139名 ご来賓:59名

於:レンブラントホテル東京町田

出演団体:舞踊連合会、民謡協会、町田Jazz、町田市フラ協会、音楽の泉



2月2日(金) 町田市民文化祭「春の催し」第49回市美展第3回打合せ 於:市立国際版画美術館
2月12日(月) 第12回役員会 於:町田市民フォーラム
2月12日(月) 第3回運営委員会 於:町田市民フォーラム
2月24日(土)~3月3日(日) 町田市民文化祭「春の催し」(第49回町田市民美術展) 於:市立国際版画美術館
事業主催:町田市美術協会 町田市書道連盟 幹事団体:町田市美術協会
2月24日(土)オープニングセレモニー ご来賓:赤塚副市長、木目田市議会議長他13名
メダル授与式 メダル受賞者:20年連続4名、10年連続7名
来場者 延べ約4,500名
出品数:276点(絵画・デザイン・彫刻120点、工芸・手芸・人形・写真90点、書道部門66点)
3月10日(日) 市美展ファイナルイベント、第2回研修事業「広重作品の魅力」とピアノの調べ
ピアノ演奏:伊藤富貴子様(エントランスホール) 於:市立国際版画美術館
講演:版画美術館館長 大久保純一様(講堂)
参加者:122名
3月10日(日) 第13回役員会 於:市立国際版画美術館
3月13日(月) 第3回町田さくらまつり尾根緑道部会(加瀬・竹井) 於:忠生市民センター
3月25日(月) 第3回理事会 於:町田市民フォーラム
社員総会に向けて。令和6年度事業計画案・予算案の承認等
3月26日(火) 市美展会計監査(高野会長・美術協会坂本会長・書道連盟宮本会長) 於:文化協会事務所
第49回市民美術展事業報告書を町田市に提出



令和五年度

賛助会員ご芳名

五十音順

石井 章夫 様	月亭 町田店 様
石阪 恭子 様	(有)ツチヤ生花店 様
ASVペスカドーラ町田 関野 淳太 様	東京ガスライフバル澤井(株) 澤井 宏行 様
FC町田ゼルビア 藤田 晋 様	(学)東京町田学園 井上 博行 様
えびす屋商事(有) 柴崎 亜紀子 様	(株)中野屋 様
MOA美術館町田みんなの児童作品展 様	(株)日本堂 前田 美津子 様
(有)大塚商店 大塚 信彰 様	根岸 むつ代 様
(株)大沢園 大沢 拓郎 様	Hana cha Café 小日向 庸三 様
小関 恵里花 様	馬場 昭乃 様
(株)華月 上野 克浩 様	原町田七福会 大塚 信彰 様
吉林等 様	百選印刷(株) 加藤 三津雄 様
吉林 聰子 様	(株)平野屋金物店 平本 勝哉 様
木目田 征 様	広瀬 啓友 様
きもののお手入れ専門店旭屋 勝川 由規 様	武相新聞社 山根栄子 様
虚心亭 池田 博子 様	(一社)町田市観光コンベンション協会 様
国際ソロプチミスト町田 様	(一財)町田市体育協会 様
小寺 法子 様	町田市農業協同組合 様
(学)こひつじ学園 理事長 豊田 ゆり子 様	町田商工会議所 様
小山 勇治 様	(株)グレースコーポレーション・ジャパン 中村 恵 様
(株)さがみや 三橋 良二 様	まほろ座MACHIDA 中村 恵 様
さくら会 野島 治栄 様	(株)ミサワ商事 三澤 昌子 様
(株)さくら建物 江成 勝敏 様	(株)武藤興行 武藤 充 様
讃岐 恵舟 様	(株)レンブラントホテル東京町田 様
渋谷商工(有) 渋谷 武己 様	老舗 ひじかた園 様
(株)創建 深澤 勝 様	和菓子 みのり庵和み 様
田賀法律事務所 小林喜浩 様	和菓子 明月堂 様
田所 佳伸 様	和光産業(株) 様
茶懷石 小すぎ 様	(有)和多屋 細野 敏雄 様

ご寄付ご芳名

新井 吼優 様	文化協会常任顧問	須山 庸泉 様	町田華道協会
臼井 定義 様	町田茶道会	高野 宗佳 様	町田茶道会
大谷 光雄 様	NPO法人町田演劇鑑賞会	館山 宗春 様	町田茶道会
大西 宣也 様	文化協会常任顧問	谷山 良太 様	映像文化研究会
岡野 美紀子 様	(一社)WHAIS	西村 雅仙 様	町田茶道会
川添 吟照 様	町田市吟詠連盟	春畑 陞 様	町田市囲碁連盟
鈴木 京泉 様	町田華道協会	Vocal Ridia 様	町田Jazzを楽しむ会
鈴木 螢梢 様	町田華道協会	三竹 和行 様	文化協会理事

令和五年度

運営委員

1. 舞台部門

町田市吟詠連盟	川添 岳照
町田市舞踊連合会	内海ろ之扇
町田市民謡協会	志賀 叶祥
NPO法人 町田楽友協会	土井美智代
東京都町田市フラ協会	ピリアロハ石橋
ハワイ音楽とフラを楽しむ会	生田 晃
町田市シャンソン文化協会	斗南 良子
ナベ音楽協会	茂野 忠昭
町田Jazzを楽しむ会	Vocal Ridia(ボーカルリディア)
音楽の泉	斎藤恵津子
NPO法人 町田演劇鑑賞会	大谷 光雄
岩田マンドリーノ・シンフォニカ	高橋 豊

2. 展示部門

町田華道協会	鈴木 螢梢
町田市書道連盟	宮本 博志
町田市人形文化連盟	松岡みゆき
町田市美術協会	坂本 誠司
むかし袋の会	熊澤 初恵
(一社) WHAISワイス	岡野美紀子

3. 文化部門

町田茶道会	高野 宗佳
町田市俳句連盟	三遊亭らん丈
町田市囲碁連盟	倉橋 幸二
映像文化研究会	谷山 良太

加入団体と会員数

1. 舞台部門 12団体

町田市吟詠連盟	会員数 203名
町田市舞踊連合会	250名
町田市民謡協会	236名
NPO法人 町田楽友協会	28名
東京都町田市フラ協会	280名
ハワイ音楽とフラを楽しむ会	110名
町田市シャンソン文化協会	30名
ナベ音楽協会	250名
町田Jazzを楽しむ会	11名
音楽の泉	37名
NPO法人 町田演劇鑑賞会	780名
岩田マンドリーノ・シンフォニカ	37名

小計

2,252名

2. 展示部門 6団体

町田華道協会	会員数 100名
町田市書道連盟	365名
町田市人形文化連盟	20名
町田市美術協会	131名
むかし袋の会	10名
(一社) WHAIS	48名

小計

674名

3. 文芸部門 4団体

町田茶道会	会員数 150名
町田市俳句連盟	18名
町田市囲碁連盟	150名
映像文化研究会	51名

小計

369名

合計(22団体)

3,295名

正会員

1. 舞台部門

町田市吟詠連盟

町田市舞踊連合会

町田市民謡協会

NPO法人 町田楽友協会

東京都町田市フラ協会

ハワイ音楽とフラを楽しむ会

町田市シャンソン文化協会

ナベ音楽協会

町田Jazzを楽しむ会
音楽の泉

NPO法人 町田演劇鑑賞会

岩田マンドリーノ・シンフォニカ

川添 吟照
浅野 目明堂
竹井 鶴迢
内海 祿之扇
伴翠 園洋
新玉 千代秀
大塚 珊麗
志賀 叶祥
勝又 竹時
阿部 宋子
米谷 孝俊代
土井 美智代
土井 達夫
菅谷 マスミ子
石橋 隆子
藤原 妙
井上 邦子
大野 悅子
生田 晃
佐々木 明
高橋 惣一
末田 八重子
斗南 良子
重南 裕子
ビー／ノ 松谷
茂野 忠昭
須藤 大地
Vocal Ridia
斎藤恵津子
篠子 庸子
桝谷 京子
大谷 光雄
熊坂 有美
紫桃 弘美
高橋 豊
荒川洋一郎

2. 展示部門

町田華道協会

町田市書道連盟

町田市人形文化連盟

町田市美術協会

むかし袋の会

(一社) WHAIS

3. 文芸部門

町田茶道会

町田市俳句連盟
町田市囲碁連盟

映像文化研究会

鈴木 緑星
木村 星陵
小川島 麗華
福須山 草志
宮本博 千尋
齊藤洋水
漆渋芳草
谷屋祥玉
土屋ゆき
松岡子
小出みさ
大坂康子
岡島誠
加瀬節
瀬熊友
澤美初
奈子惠
澤美初
岡野友
久保田一
昭子
中山麻実
大川三枝子

高野 宗佳
西村雅仙
鴨志田宗美
有賀仙陽
館山宗春
白井宗定
三遊亭らん二
倉橋幸二
春畑二陸
網倉英治
谷山良太
小林勝美
今春宏泰



町田茶道会

町田茶道会事務局
TEL:044-988-1757

令和五年度

名誉会長・顧問

名誉会長	石阪 丈一	町田市長
常任顧問	大西 宣也	文化協会第6代会長
常任顧問	新井 吼優	文化協会第10代会長
顧 問	五十子白和	元 町田華道協会会长
顧 問	春畑 陸	前 町田市団碁連盟会長
顧 問	鷺北 秀樹	前 町田市文化・国際交流財団理事長
顧 問	森 和秋	前 町田市文化・国際交流財団専務理事

理事・監事

代表理事(会長)	高野 宗佳	町田茶道会会长
理 事(副会長)	三竹 和行	元 町田市美術協会会长
理 事(副会長)	加瀬 友一	前 町田市美術協会会长
理 事	館山 宗春	町田茶道会
理 事	岡野美紀子	(一社) WHAIS代表
理 事	鈴木 京泉	前 町田華道協会副会長
理 事	竹井 鶴迢	町田市吟詠連盟
理 事	大谷 光雄	NPO法人 町田演劇鑑賞会会长
理 事	米谷 孝俊	町田市民謡協会
理 事	池田 博一	元 町田市文化・国際交流財団 市民ホール館長
理 事	黒崎 聰史	司法書士
監 事	平野 清	元 町田市市民部長
監 事	齊藤 千尋	町田市書道連盟副会長兼事務局長



あとがき

コロナ禍を超えて活動が復活し、また、新たに活動の幅を広げる団体も見受けられるようになってきました。さまざまな制限を受けたこの数年間の中で、私たちは、人と人が向かい合い、言葉を交わし、心を通わせることが如何に大切なものであるかを身に染みて感じました。本号では、「他者への思いやりとそれを支える心の強さの大切さ」を次世代に伝える取り組みを続けている団体を「特集 文化を伝える」の中で紹介しています。文化協会の構成団体が、日頃の稽古、鍛錬により培われた真髄を、次代を担う人々に伝える努力を続けていることに誇りを感じます。



ここ町田市で総合保険代理店を 起業して38年になります

40年以上にわたり金融の専門家としてお客様のサポートをしてまいりました
保険営業職のトップクラスのメンバーで構成されるMDRT終身会員、TOT会員の最高クラスのファインシャルプランナーとして皆様のコンサルティングをさせていただいています
その経験や実績を基に書籍にまとめましたので、ぜひこの機会に皆様にもご一読いただければと紹介させていただきます

オールライフグループ 代表取締役 児玉 正浩

第二弾

劇場型 営業



ご契約者様とのお仕事における接し方、
営業に関するノウハウをまとめた一冊です

新刊

第三弾

老後を救う 投資術



3万人以上のお金の不安を解決してきた
経験から、今皆様にお伝えしたい事

書籍のお求めは一般書店もしくはアマゾンで 検索

総合保険代理店



今日の安心を未来につなげるために

株式会社 **ベネフレックス** 株式会社 **オールライフ**

〒194-0022 町田市森野1-34-10 第一矢沢ビル 5F

TEL **042-722-3861** FAX 042-725-6939

<http://www.alllife.co.jp>



FUTURE PROSPECTS

学校法人東京町田学園が未来に放つ三本の矢

独創的な『学びの環境』を

2024年度開校予定

相模キャンパス

| 匠塾 TAKUMI COLLEGE |

城づくりを通じて
宮大工・匠の技術を学ぶ伝統的で高度な大工技術の伝承とその人材育成を行い、
全国を代表する職業訓練校を目指します。

テニス・サッカー・野球グラウンド・150名収容完備

宮大工→多能工まで
高卒資格制度あり

技能職(建築&環境)系／全寮制・職業訓練校
 神奈川県相模原市緑区寸沢町地区(敷地面積:約16,600m²)
 対象:中学卒業以上・既卒者・社会人 ●人材バック登録
 ※諸条件満たす方のみ入学可。特別制度あります。詳細は面接資料にて確認ください。

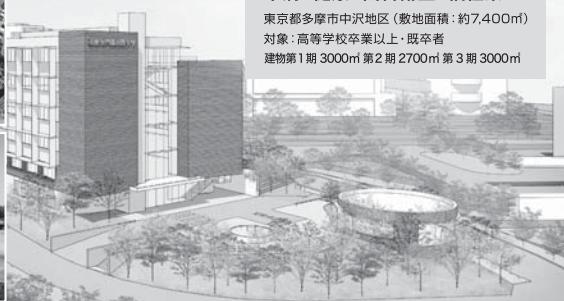
相互利用が可能な体育館・グラウンド・実習棟・学生寮による文武両道

2026年度設置構想中

多摩キャンパス

| 大学構想 |

未病治療が
医療を変える
健全な口腔環境と機能及び適正な食・栄養をもつて
快適かつ心身ともに健全に暮らせる社会の実現と
健康寿命の延伸に貢献します。



未病・健康・歯科衛生・福祉系

東京都多摩市中沢地区(敷地面積:約7,400m²)
 対象:高等学校卒業以上・既卒者
 建物第1期 3000m² 第2期 2700m² 第3期 3000m²

～利用者募集～ 30席室～174席室まで
ホール・教室・ギャラリー

【まちだ割】対象の場合は総額から10%～【特割】最大50%割引！

**ラポール mdc ホール**

Tel:042-726-3212 Fax:042-726-1741 Mail:hall@mdc.ac.jp



学校法人東京町田学園

mdc
 Machida Design College

町田デザイン&建築専門学校

<http://www.mdc.ac.jp> 〒194-0022 町田市森野1-26-8 【お問い合わせ】0120-27-0204

■建築工学系学科・・・建築工学科/建築デザイン科 /インテリアデザイン科 ■通信教育課程・・・一級建築士受験科 /二級建築士受験科

■クリエイティブ系学科・・・Web・CGアニメーション科 /グラフィックデザイン科 /イラストレーション科 /コミックイラスト・マンガ科

（一社）町田市文化協会 会報第32号

「町田の文化」

令和6年7月10日発行

発 行 一般社団法人 町田市文化協会
会長 高野宗佳
電話／FAX 042-850-8422

編 集 大谷光雄・竹井敏夫・田所佳伸

印 刷 百選印刷株式会社
〒194-0013
東京都町田市原町田2-5-3
パールマンション106
電話 042-723-3597

（一社）町田市文化協会ホームページをご利用下さい
<http://machida-bunkyo.com/>